

【大会会場図】



【大会会場の駐車場について】

- ・当日は他の利用者の方もいらっしゃるので、大会に終日参加される方は、消防局側臨時駐車場（25台）をご利用ください。
- ・駐車場は9時から利用可能です ※開館は9時30分
- ・途中から参加、もしくは途中で帰る予定の方は、通常駐車場を利用してください。
- ・安全な駐車のため駐車場係の指示に従って駐車をお願いします。
（係は各駐車場への誘導1人、消防局側駐車場での誘導1人）

【鹿昆忘年会】今年はやります！ふるってご参加ください！

開会:11/18(土)18:00～ ※鹿昆大会当日の夜です

会費:4,500円

会場:ホテルユニオン(鹿児島中央駅西口近く) 鹿児島市西田2-12-34 電話 099-253-5800

※会場予約のため、11月10日(金)までに、お名前・人数を下記までご連絡下さい。

小宮 裕生 e-mail : h.komiya07@outlook.jp

<感染症対策 ～各自の責任でお願いします～>

- 1) 当日、発熱等の症状がある場合、参加を自粛していただきますようお願いいたします。
- 2) お茶等は準備しません。水分は各自でご準備ください。

鹿児島昆虫同好会

2023年大会



炎天下、木陰で休むユウレイセセリの雌成虫 2023年7月24日

奄美市名瀬浦上町 県農業開発総合センター大島支場近く 撮影者:松比良 邦彦

<表紙写真コメント>

この4月からの2回目となる奄美大島勤務では、職場と住宅が至近距離にあります。暑かった7月24日の月曜日、昼食のために自宅へと向かいました。クマゼミがシャアシャア啼いている猛暑の中、今日のカップラーメン何食べようか・・・と歩いていますと、羽化したばかりかと思われるほど新鮮で小さく地味なセセリチョウが目の前に飛んで来まして、ちょこんと日陰の葉上に静止しました。イチモンジセセリではないな！、チャバネセセリか？・・・、チト小さいなあ。ここは奄美だし面白いセセリかもよ！？。何かに憑かれたように慌てて自宅に捕虫網を取りに帰り採集しました。この採集個体は、その後、尻を切られたり、脚をもがれたりして、交尾器やDNAの解析までと同定作業を進めました。その結果、様々な方々の力をお借りしたおかげで、1ヶ月程度と比較的短期間でユウレイセセリであることが判明しました。ユウレイセセリの奄美大島における正式な記録はこれが最初と思われる。

期日：2023年11月18日(土) 10時15分～15時30分

会場：かごしま環境未来館 多目的ホール2

2023年 鹿昆大会 プログラム

9:30～ 会場設営（お手伝いいただける方はお願いします）

10:00～10:15 受付 会費納入や記帳をお願いします。※会費納入は昼食時間にもできます。

【午前の部】

10:15～10:20 開会の挨拶 会長：二町一成

10:20～10:40 「隠蔽種扱いだっただのか？それとも近年北上してきたのか？

～2023年に奄美大島で発見されたユウレイセセリ」 松比良 邦彦（奄美市）

ユウレイセセリはチャバネセセリに良く似た地味なチョウである。鹿児島県における記録は、沖永良部島、徳之島、奄美大島とあるものの同定の正確さに疑問を持っている。2023年奄美市名瀬浦上町において複数の本種を記録した。講演では発見の経緯、幼虫・食草・天敵等の確認、そして茶色系のセセリチョウに関する今後の研究課題について言及したい。

10:40～11:00 「庭の蝶」 中西 元男（三重県）

日常生活を送る自宅に出現する昆虫を記録する手法は、簡便かつ持続可能な地域ファウナ把握の手法として有効である。鹿児島市明和の福田晴夫氏宅庭のチョウの記録が公表された機会に、三重県における同様の観察例との比較を試みた。

11:00～11:10 休憩・換気

11:10～11:30 「喜界島でアサギマダラ 22年間の観察から増減数の推移について」

福島 誠（喜界町）

現在喜界島のアサギマダラは多少の増減はあるものの減少傾向が続いています。喜界島の島内で年間を通じて観察したマーキングのデータから、年代ごとの出現数、出現期間および周辺環境などの変化について述べる。

11:30～12:00 「チョウの起源の新説と鹿児島県のチョウ相成立史」 福田 晴夫（鹿児島市）

2023年に日本人を含む87人の著者による、“チョウは1億年前（白亜紀）、アメリカで誕生し、幼虫はマメ科食いであった”とする衝撃的な論文が出た。本当だろうか？2018年に全然違う話がでている。これらの説の紹介、検討の論著は知らないが、私見を述べつつ紹介したい。別問題として、鹿児島県本土のチョウ相成立にかかわる始良カルデラの問題を話す。

12:00～13:30 記念写真撮影・昼食・休憩・展示見学・頒布会

【午後の部】

13:30～13:45 鹿昆大賞 表彰式・受賞コメント

森 一規 氏・津田 勝男 氏・神園 政行 氏・田中 和臣 氏

受賞理由：鹿児島県のカミキリムシ相の解明とそのまとめ

江平 憲治 氏 受賞理由：鹿児島県のトンボ相の解明とそのまとめ

13:45～13:50 感謝状 株式会社 南方新社 殿（代表：向原 祥隆 氏）

受賞理由：鹿昆70周年での出版物への貢献

13:50～14:05 「記録は生きている」

幾留 秀一（鹿児島昆虫相調査会）

14:05～14:20 「日本初！350 万年前のミスジチョウ属新種の化石」

○坂巻 祥孝（鹿児島大学）・相場 博明（慶應幼稚舎）・高橋 唯（慶應幼稚舎）

群馬県上部鮮新統兜岩層（約 350 万年前）から発掘された昆虫化石の中から保存状態の良いチョウの化石が見つかった。この化石を調査したところミスジチョウ属の絶滅種でチョウ類としては日本初の新種化石であることが分かった。

14:20～15:10 特別講演「日本における進化論から進化学への受容の変遷」

富山 清升（鹿児島大学）

日本の一般社会では、進化論＝社会進化論と受け止められてしまっているのは何故か？「進化論とは生存競争の原理である」との認識が刷り込まれているのは何故か？その歴史の変遷の話をしてしたいと思います。

15:10～15:20 鹿昆 10 大ニュース 2023

15:20～15:25 事務連絡

15:25～15:30 閉会の挨拶 副会長：江平 憲治

15:30～ 後片付け，SATSUMA 発送準備，16:00 戸締り完了

《係分担》

【設営・看板・準備】 江平・大坪(修)・金井・小溝・小宮・中峯(浩)・中峯(敦)・二町・松比良・若松

【受付・会費】 中峯(浩)・中峯(敦) 【SATSUMA 配布】 小宮 【機材搬入・操作】 小溝

【司会・進行】 金井・小溝 【写真】 大坪(修) 【記録・アルボ報告】 小宮・松比良

【頒布会】 若松 【駐車場】 江平・大坪(修) 【忘年会】 二町・小宮

《標本展示・頒布会》※バザーは実施しません。

今年の成果，貴重なコレクション，「県内の〇〇類」，「日本の〇〇の地域変異」等の標本，写真等を展示できます。標本箱や写真を囲んで“三密”に注意しながら虫談義に花を咲かせましょう。

昆虫関係の本，採集道具，標本道具，蝶の食草等，提供できるものがあれば当日お持ち寄り下さい。資料や道具の有効なりサイクルと会員の活動の活性化のため，ご協力をお願いします。

《注意》

- 1) 展示にご協力いただける方は，できるだけ 9:30 までにお持ち寄り下さい。
- 2) パソコン・プロジェクター等を使用される方は，早めに機材係と打ち合わせをして下さい。
※ パソコンは係が準備します。Power Point 2007 です。機種によって誤作動が生じる場合がありますので，受付後すぐにデータを USB か CD で係に渡し，その場で一緒に動作の確認をお願いします。念のため，可能ならばご自分の PC もご準備ください。
- 3) 発表時間は質疑応答・交替を含む時間です。スムーズな進行にご協力をお願いします。
- 4) 配付資料は 9:30 までに受付に提出してください。または講演前に適宜配布してください。
- 5) 当日は，受付にて年会費（3000 円）も受け付けます。中峯(浩)・中峯(敦)まで。